看護教育論

ナンバリング:N4-S2-J12

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

専門職教育としての看護教育を理解するために、看護教育の歴史の変遷を踏まえて、看護教育制度の現状と問題点を考えていく。准看護師問題、看護学教育の一元化および特定能力を有する看護師の問題等、看護学教育を取り巻く様々な問題を検討し、今後どのような看護学教育が必要とされるかを考えていく。さらには、自身の看護職としての継続したキャリア開発と継続教育の関連性を考える。

・教育成果(アウトカム)

看護教育の歴史の変遷と看護学教育の現状を理解し、看護学教育の課題を考えることができる。さらに、看護を学び続ける者、看護を実践する者として基盤となる概念、思考方法について知り、自身の看護職としての継続したキャリア形成の道すじを考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護教育の歴史の変遷を理解できる
2. 日本の看護教育制度の課題について理解できる
3. 現在の看護基礎教育の教育課程の特徴と課題について理解できる
4. 大学教育における看護学教育について自身の意見を述べられる
5. 自身の看護職としてのキャリア形成のための継続教育の必要性を考えることができる
6. 看護学教育の基盤となる概念を理解でき、省察的实践者について理解できる

・授業日程

【講義】

会場：トクタヴェール講義室2

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/16 水 1限	【授業内容】 日本の看護教育の歴史の変遷を学ぶ(1) ・看護教育の歴史の変遷を理解でき、終戦を経て保健師助産師看護師法が制定されるまでの概要が理解できる 【関連するSBO】 1 【事前学修:60分】 教P138-142を読み、1年次の看護学概論で学んだ「日本の看護の歴史の変遷」を復習する 【事後学修:120分】 講義資料を復習する(終戦を経て、保健師助産師看護師法が制定されるまでの経緯をまとめる)	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
4/18 金 1限	【授業内容】 日本の看護教育の歴史の変遷を学ぶ(2) ・看護教育の高等教育化への変遷を理解できる 【関連するSBO】 1, 2 【事前学修:60分】 教P142-147を読み、1年次の看護学概論で学んだ「日本の看護職の現状」を復習する 【事後学修:180分】 課題レポートを指示された期限までにWebClassから提出する 課題レポート1 保健師助産師看護師法がどのような法律であるかをまとめる	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授

6/9 月 4限	<p>【授業内容】看護学教育の基盤となる概念を理解できる ・発達理解、学修意欲と動機づけ、成人学習理論を学ぶ ・クリティカルシンキング・リフレクションを学ぶ ・省察的实践者として必要な考え方と行動について知ることができる</p> <p>【関連するSBO】6 【事前学修:60分】エリクソンの発達課題、マズローのニーズ階層説について復習する 【事後学修:60分】講義資料の復習</p>	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授
6/12 木 4限	<p>【授業内容】省察的实践者について理解できる ・リフレクションの実際を体験する ・個人ワークとグループワークを実施しリフレクションレポートを記載して提出する</p> <p>【関連するSBO】6 【事前学修:60分】演習内容の確認をする 【事後学修:60分】演習での学びをふりかえる</p>	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授
6/17 火 2限	<p>【授業内容】看護基礎教育の教育制度・教育課程の特徴と課題を理解できる ・カリキュラム・教育課程の基礎的な理解 ・看護教育制度の現状 ・看護教育制度の問題点</p> <p>【関連するSBO】3 【事前学修:60分】教P168-178を読む 【事後学修:240分】日本看護協会HP内の「准看護師制度について」の全文を読み、課題レポートを指示された期限までにWebClassから提出する 課題レポート2 現状で、准看護師制度廃止が困難な理由について調べたことと、自分が考えたことをまとめる</p>	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授
6/18 水 1限	<p>【授業内容】看護基礎教育の教育課程を理解できる ・保健師助産師看護師養成所指定規則 ・看護学教育モデルコアカリキュラム ・看護学実習ガイドライン</p> <p>出席カード:「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標の現時点での自己評価」を行い、その感想も書いて提出</p> <p>【関連するSBO】4 【事前学修:120分】急速な看護師養成の大学化の要因について調べる 【事後学修:240分】課題レポートを指示された期限までにWebClassから提出する 課題レポート3 自分はなぜ大学を選んだのかを記述し、さらに大学で学ぶことと、専門学校で学ぶことの違いについて自分の意見をまとめる</p>	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授
6/23 月 4限	<p>【授業内容】看護職のキャリア開発(1) キャリアの意味を理解し、看護職としてのキャリアディベロップメントを考えることができる 日本における看護継続教育の現状を理解できる 看護継続教育の現状と課題(新人看護職員研修、現任教育)を理解できる</p> <p>【関連するSBO】5 【事前学修:120分】教P162-165と、厚生労働省「新人看護職員研修ガイドラインのI.新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方」を読む 【事後学修:240分】課題レポートを指示された期限までにWebClassから提出する 課題レポート4 新人看護職員研修を受ける側である「新卒者」としての自己の課題を表明する</p>	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授
7/1 火 4限	<p>【授業内容】看護職のキャリア開発(2) ・専門看護師・認定看護師・特定行為を実践する看護師の定義や教育内容、役割を理解できる</p> <p>【関連するSBO】5 【事前学修:60分】教P165-168を読む。1回~7回の授業内容全般を復習する 【事後学修:60分】授業資料を通読し、本授業で学んだこと全体をふりかえる ・配布された「自分のキャリアプランを書いてみよう」を記載して提出する</p>	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論 第17版	茂野香おる他	医学書院	2020
参	学生のための看護教育学	佐々木幾美編著	医歯薬出版株式会社	2023
参	看護教育学(改訂第3版)看護を学ぶ自分と向き合う	グレッグ美鈴	南江堂	2024

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】WebClassへの課題レポート1～4(50%)、リフレクションレポート(20%)、キャリアプランレポート(30%)の合計で評価する。(計100%)
(レポート評価にはルーブリックを用いる)
【形成的評価】
適宜、レポート等の学修成果物の提出を求め、教育内容の確認を行う。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
提出された課題レポートについては、記載内容等を必要時授業内で共有する。
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師(別表3): 専門分野 看護の統合と実践
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
当該科目に関連する実務経験の有無 有
地域医療支援病院における看護師、病棟看護師長、教育担当看護師長の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(EPSON EB-L610WVPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(ELMO PX-10)	1	講義用資料投影